

## 第 19 回 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

日時：令和元年 10 月 11 日（金） 15:00～17:00

### 1. 設楽ダム猛禽類検討会の経緯

- ・これまでの検討会経緯等について報告した。

### 2. 令和元年（2019 年）繁殖シーズンの調査結果について

- ・クマタカ A ペアについては、繁殖行動及び幼鳥は確認されていないことを報告した。
- ・クマタカ B ペアについては、繁殖行動は確認されたが幼鳥の巣立ち及び営巣木は確認されていないことを報告した。
- ・クマタカ C ペアについては、幼鳥の巣立ち及び営巣木周辺での食痕及び糞痕を確認したことを報告した。
- ・2019 年高利用域はコアエリアと比較して、クマタカ A ペアは北側への拡大及び南東側の縮小、その他のペアは大きく変化していないことを報告した。
- ・2019 年営巣中心域は繁殖テリトリーと比較して、クマタカ A ペアは昨年生まれの幼鳥の確認位置が北側への拡大及び南東側の縮小、クマタカ B ペアは繁殖に関する指標行動が南西側で縮小、クマタカ C ペアは繁殖に関する指標行動が南側で縮小を確認したことを報告した。
- ・クマタカの餌動物について、これまでの食痕調査などから、鳥類（ヤマドリ、キジバト、ヒヨドリ、カケス等）が多く、次いで哺乳類（ノウサギ、タヌキ、ムササビ等）、爬虫類（シマヘビ等）であったことを報告した。また、ダム事業による改変後の餌動物の状況の変化を確認することとの意見から、今後も確認していくこととした。
- ・その他猛禽類のサシバ 2 ペアで巣内雛、ツミは餌運搬を確認した。サシバ及びツミ以外の猛禽類については繁殖行動が確認されなかったことを報告した。

### 3. 令和元年（2019 年）繁殖シーズンのモニタリング結果について

- ・工事実施期間中の定点調査では、忌避、警戒と思われるような行動は見られなかったことを報告した。
- ・クマタカ C ペアについては、直近の営巣木から 500m 以内での工事であったため、工事工程の配慮や定点調査に加え補足のモニタリング調査で忌避、警戒行動の監視を行いながら工事を進めた。その結果、忌避、警戒と思われるような行動は見られなかったことを報告した。期間中、工事実施日と工事休止日で行動及び範囲に変化が見られなかったことを報告した。
- ・今回、営巣木近傍での工事による影響が見られなかったというデータは貴重である。今後とも営巣木近傍での工事では、環境保全措置や配慮事項の実施と合わせてデータの蓄積を

行うことを確認した。

#### **4. 令和2年（2020年）繁殖シーズンの調査計画（案）について**

- ・調査計画は、これまでと同様を基本とし、以下の留意点を加える計画について了解を得た。
- ・営巣木近傍で工事を実施する場合には、工事実施日と工事休止日との行動範囲等の比較を行うことで工事影響を確認することとの意見を頂いた。

#### **5. クマタカ的环境保全措置の対応方針について**

- ・クマタカ B ペアについては、直近の営巣木から 500m 以内で付替道路工事が予定されていることから、環境保全措置や配慮事項の実施と合わせて個別の環境保全措置を検討し、工事を行う場合には、モニタリングによる監視、工事計画・状況とモニタリング結果を適時専門家へ報告し対応を検討する体制とすることとした。
- ・クマタカ A ペア、C ペアについては、直近の営巣木から 500m 以内の工事は予定されていないことを報告した。今後の営巣木により工事との位置関係が変わるため工事実施中においても定点調査を実施し、調査結果を適時専門家へ報告し対応を検討することとした。
- ・工事実施時のクマタカの状況を把握することが重要であるご意見から、繁殖に係る知見を確実に蓄積していくこととした。
- ・繁殖活動に影響を及ぼす時期に施工を行う工事について、施工時期を単年度ではなく長期的スケジュールで調整し、極力影響を回避する対応が必要であるご意見から、営巣木近傍の工事スケジュールの調整結果を報告することとした。

以 上